

# 編集後記

editorial note

近年は自然災害に伴う想定外の事象が発生しています。平成23年の東日本大震災に伴う大津波によって福島第一原子力発電所の原子力事故、平成30年の胆振東部地震に伴う北海道全域の停電（ブラックアウト）です。そして、今年には自然災害ではありませんが、世界的な大流行（パンデミック）となっている新型コロナウイルス感染症です。国内では北海道が中国武漢の観光客から感染が広がり最初に流行し、感染抑制のため外出の自粛、イベントの中止や学校の休校などが実施されてきました。

このコロナ禍によって弊社においても、働き方や生活習慣等に大きな変化をもたらしています。通勤密を避けるための時差出勤、社内外の接触を減らすためのテレワーク、対面接触を回避するためのWeb会議、手洗い、アルコール消毒やマスク着用の徹底です。

また、社内行事においても自粛が余儀なくされました。年度初めに行われる「年度事業計画会議」は、参加人数を制限し全社員へはリモート配信で行いました。また、年一度行ってきた「安全大会」や「技術発表会」は中止としました。

昨年までの技術レポートは、「技術発表会」で発表されたものを取りまとめたものですが、今年度は技術発表会が中止となったこともあり、発表予定だった事例を中心に掲載させていただきました。内容的には、執筆者が経験した業務の中で苦労したもの、特殊なケースのもの、技術アピールしたいもの等の紹介としています。残念だったのが、建築補償部の「支障建物の移転工法を検討した事例」というレポートがあったのですが、手続き等が間に合わなかったため、令和3年度の技術レポートに掲載したいと思います。

さて、来年度のコロナ禍の影響はどうなっているのでしょうか。新型コロナのワクチンや治療薬が開発され、無事に東京オリンピック・パラリンピックは開催されるのでしょうか。社会・経済ももどに戻ることができるのでしょうか。心配事だらけですが、新型コロナ感染者がゼロになることはないと思いますので、上手な付き合い方をしていくしかないですね。もしかすると、また新たな想定外の事象が発生するかもしれません。その時は、全社員一丸となって応用能力を発揮し、事業継続ができるように進めてまいります。

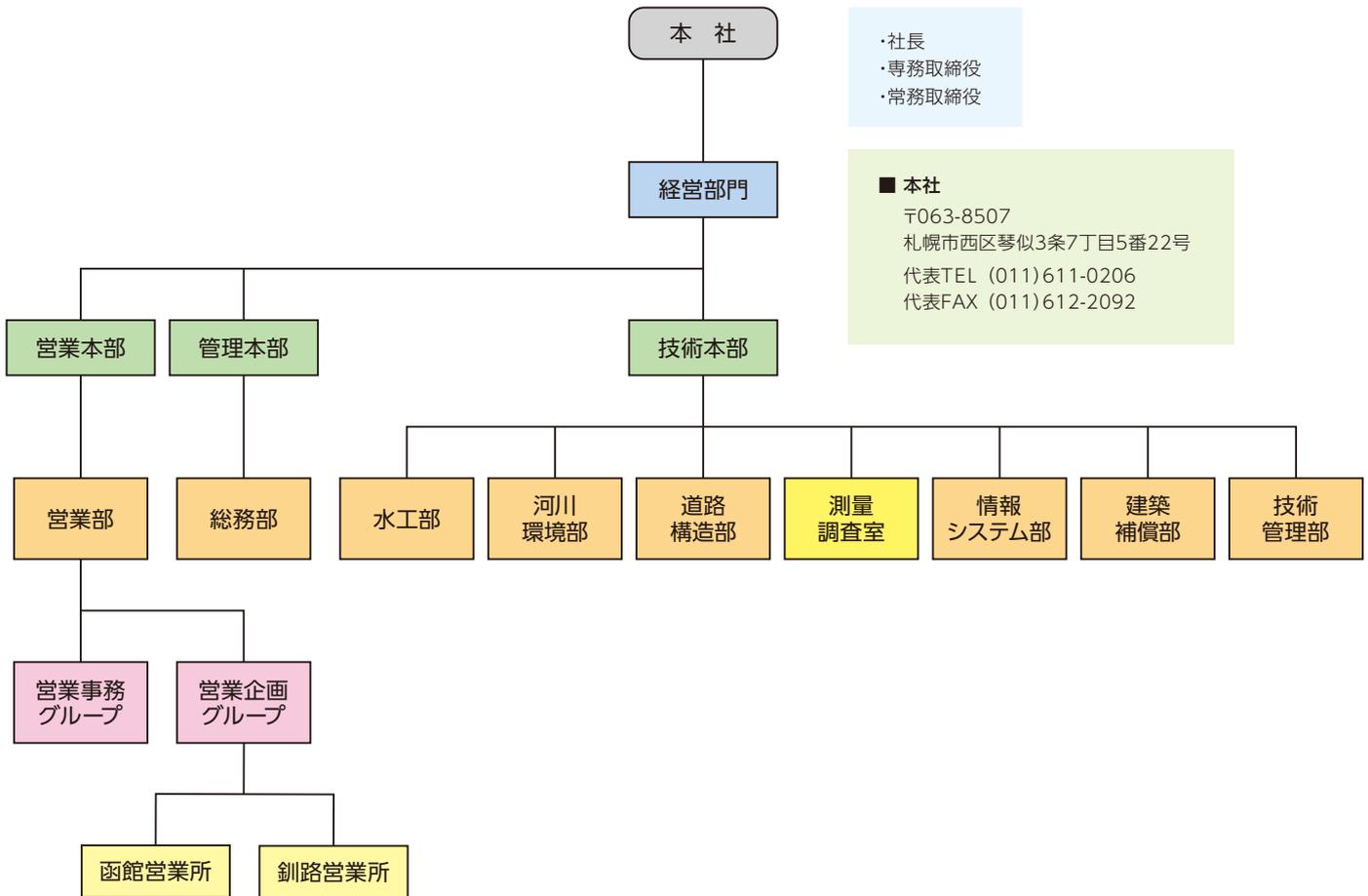
最後に、執筆者の方々には限られた時間の中で協力いただきありがとうございました。また、掲載にあたり、ご了解をいただいた発注関係者の皆様方、大変ありがとうございました。ここに感謝の意を表します。

文責

技術本部 執行役員部長 柏倉 秀二

技術士（建設部門）  
河川維持管理技術者

# 組織図



・社長  
・専務取締役  
・常務取締役

## ■ 本社

〒063-8507  
札幌市西区琴似3条7丁目5番22号  
代表TEL (011)611-0206  
代表FAX (011)612-2092

### ◇ 営業部

TEL (011)611-8782  
FAX (011)611-0219

### ◇ 総務部

TEL (011)611-0206  
FAX (011)612-2092

### ◇ 函館営業所

〒041-0806  
函館市美原4丁目36番14号  
TEL (0138)83-8272  
FAX (0138)83-8273

### ◇ 釧路営業所

〒085-0061  
釧路市芦野3丁目1番10号  
TEL (0154)36-1271  
FAX (0154)36-1272

### ◇ 水工部

TEL (011)611-8740 (011)590-0283  
FAX (011)611-0227

### ◇ 河川環境部

TEL (011)611-8727 (011)611-0226  
FAX (011)611-0227

### ◇ 道路構造部

TEL (011)611-0215 (011)611-3865  
FAX (011)641-6283

### ◇ 測量調査室

TEL (011)611-8727  
FAX (011)641-6283

### ◇ 情報システム部

TEL (011)676-5705  
FAX (011)676-5821

### ◇ 建築補償部

宮の森分室  
〒064-0953  
札幌市中央区宮の森3条1丁目3番2号  
TEL (011)611-3869  
FAX (011)612-2093

### ◇ 技術管理部

TEL (011)611-3865  
FAX (011)641-6283

## 登録資格

- 建設コンサルタント 建01第386号
- 測量業 第(14)-1057号
- 地質調査業 質30第550号
- 補償コンサルタント 補01第1580号
- 一級建築士事務所(石)3653号
- 土壤汚染対策法指定番号 環2003-1-1007

## 有資格者数

技術士 (総合技術監理部門) —— 6名	一級土木施工管理技士 —— 7名
技術士 (建設部門) —— 15名	コンクリート診断士 —— 5名
技術士 (応用理学部門) —— 2名	河川維持管理技術者 —— 1名
技術士 (上下水道部門) —— 1名	河川点検士 —— 8名
RCCM —— 15名	道路橋点検士 —— 3名
一級建築士 —— 2名	土壤汚染調査技術管理者 —— 1名
測量士 —— 7名	地質調査技士 —— 5名
補償業務管理士 —— 4名	

令和2年12月1日現在

# 2020 技術レポート



和光技研株式会社

---

## 会社概要

商号 和光技研株式会社

創立 昭和39年7月18日

資本金 4,000万円

---

## 事業所

本社 〒063-8507 札幌市西区琴似3条7丁目5番22号  
TEL:011-611-0206(代) FAX:011-612-2092

宮の森分室 〒064-0953 札幌市中央区宮の森3条1丁目3番2号  
TEL:011-611-3869 FAX:011-612-2093

函館営業所 〒041-0806 函館市美原4丁目36番14号  
TEL:0138-83-8272 FAX:0138-83-8273

釧路営業所 〒085-0061 釧路市芦野3丁目1番10号  
TEL:0154-36-1271 FAX:0154-36-1272

---

<https://www.wako-giken.co.jp>